

日時:令和7年6月25日(水)10時

場所:複合棟301会議室

6月25日(水) 先達山太陽光発電所工事打ち合わせ

出席者: **福島市** 環境政策課 穴戸、富塚、大泉、柳澤、佐藤
 農林整備課 吉田、平野、長谷川
 都市計画課 佐々木
 河川課 今野
 開発建築指導課 岡本
事業者 amp **奥村組**、**東芝プラント** **ほか**
 旭テクノプラント(管理会社)

1 amp報告

(1)工事進捗報告

- ・緑化工 現在100%(前回100%)
- ・補修緑化 8月中旬まで (補修計画は別紙P.6に記載)
- ・土工 現在 100%(前回100%) *面積99.7%(前回99.7%) 別添資料P.4
- ・パネル等設備 現在 約95%、パネルのみ84%(前回90%、パネルのみ71%)
- ・工事全体 96% (前回95%)⇒ 7月末完成予定

(2)前回からの経過確認

- ・7月末に受電、経産省の試験に2か月、9月末に運転、10月末までに引き渡し
- ・9月末から運用し、旭テクノプラントが管理していく。

(3)地元調整など

- ・濁度計設置後(金堀沢水路敷占用申請) 奥村組から旭テクノへ運用を変える。
- ・サイレンは小坂地区と音の調整を行って濁度計の占用を変更して設置する。
- ・濁度計、サイレン、監視カメラ、水位計は9月末までに試験運用(変更なし)
- ・8月中旬に県の林地開発検査予定(変更なし)

2 確認事項

(1)環境影響評価のフォトモンタージュ検証の報告⇒ 検証が進んでいない。

amp **奥村組**:上の三角形2箇所の植樹について投資家の承諾を得たが、県へ確認中で回答に時間がかかっている。また、残地森林部分の木が10本ほど倒れており、追加で調査を行ったところ、700本ほど倒木の可能性が確認された。残地森林の管理についても県と協議中である。

県の回答があり次第、フォトモンタージュの作成となるため、もう少し時間をいただく。

環境:県の回答については、市からも催促する。

(2)排水設備からの跳水による地山崩落箇所の対策工法について

amp■■■■:跳水による地山の崩落箇所については、植生土嚢と種子散布で対応予定。
県に確認中のため、回答があり次第対応する。

環境:崩落箇所を植生土嚢と種子散布で対応となれば、地山が安定するまで期間を要する。また、新たな崩落の可能性も出てくることから、運営をしていく中で維持管理をしていくということか？

amp■■■■:運営しながら維持管理の中で対応することになる。また、投資家との話で、跳水がある箇所については対応が必要という話はしている。運営をしていく中で蓋を設置するなど維持管理で対応していく。建設に支障がある箇所などは、蓋設置を行い対応している。

(3)排水設備の修繕と土砂浚渫の実施について

東芝プラント■■■■:別紙資料P.5により説明。7月初旬までかかる見込み。

(4)調整池の状況把握と浚渫等必要な措置の実施について

奥村組■■■■:1号、2号、3号調整池の浚渫は完了。法面補修完了。

設置工事完了後の維持管理における浚渫等の施工方法や、作業ヤードに関する部分は県と協議しており、準備中(次回以降に提出予定)。

(5)法面緑化や保護工の実施について

東芝プラント■■■■:別添資料P.6により説明。8月中旬に完了予定。

3 要請内容

(1)【パネルの反射について】 別紙資料P.7、P.8に基づき要請

・太陽光パネルの反射については、「反射光は上空に向かうため、市街地方向への反射はしない。雲がパネルに映り込んだ際に白っぽくなり、光っているように見える。」との説明であり、市としてもそのような認識でいた。

・しかしながら、パネル設置が進むにつれ、市民から反射による運転時の苦情が多数寄せられるようになった。職員による現地調査(6/4～6/5)を行った結果、特定の時間帯において、太陽光パネルからの反射光を確認しており、継続して市民に影響が出る可能性があり憂慮している。

・これらの状況を踏まえ、太陽光パネルからの反射光について早急に検証するとともに必要な対策を講じること。また、事業主体や投資家へも情報を共有すること。

amp■■■■:パネル反射については検証を進めていく。

環境:反射光の確認は環境影響評価の中で行っていたか。

amp■■■■:日本気象協会にて2020年か2021年に行っており、その結果では市街地への反射は確認できないという結果が出ている。

また、最近の説明で多用している「光って見える」という表現については、別コンサルに調査を依頼した際の回答から確認したものである。

(2)緑化状況の確認と今後の緑化工事(三角形部分以外の状況を確認)

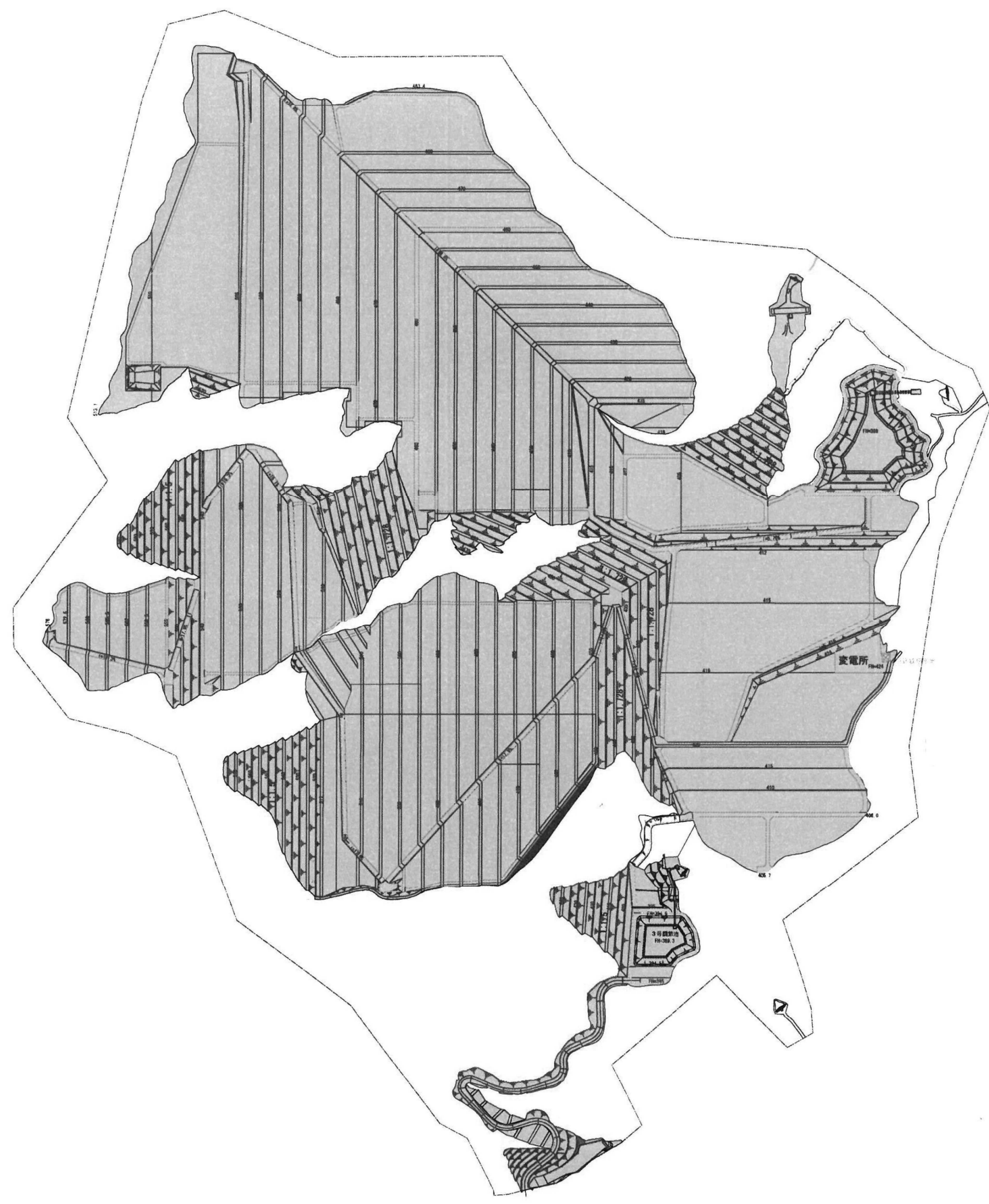
amp■■■■: 三角形の箇所より遅い時期に種子散布を行った箇所であるため、緑化が遅れている。時間が経てば三角形の箇所と同様の見え方になる。

(3)6月市議会における質問について

・6月市議会でも、継続して先達山太陽光発電事業における災害発生等への懸念、景観への懸念、環境影響評価時のフォトモンタージュとの乖離などについて質問が出ている。市議会、市民の関心は高い。市としても、これまでAC7に対して要請してきたスタンスに変更はない。継続して丁寧かつ誠実な対応を行うこと。

amp■■■■: 議会においても指摘を受けている内容は重く受け止めている。特に景観に関しては、植樹を増やすなどの対策を講じていく。

*次回は、7月23日(水)9:00から現地確認を予定



20250624_施工状況

凡例
■ 施工完了

土工進捗率：(面積) 99.7%
(土量) 100.0%

エリア	側溝是正箇所数			完了箇所数		5月	6月				7月	備考
	合計	補修	土砂	補修	土砂	31	7	14	21	28	5	
A1	7	2	5	2 / 2	5 / 5				▼			
A3	4	2	2	2 / 2	2 / 2							
A4-1	1	1	0	1 / 1	-							
A4-2	1	1	0	1 / 1	-							
A4-3	3	1	2	1 / 1	2 / 2							
A5	3	2	1	2 / 2	1 / 1							
A6	4	2	2	2 / 2	1 / 2							
B1	1	0	1	-	1 / 1							
B2	9	7	2	4 / 7	1 / 2							
B3	17	5	12	5 / 5	6 / 12							
B4	5	2	3	0 / 2	2 / 3							
B5	1	1	0	1 / 1	-							
C1	1	1	0	1 / 1	-							
C2	4	0	4	-	2 / 4							
C4	2	1	1	0 / 1	1 / 1							
合計	63	28	35	22 / 28	24 / 35							

[illegible]

(資料1) 職員による現地調査の結果 (1/2)

R7.6.4 (水) 15:49

反射が始まる時間帯



R7.6.4 (水) 15:49



R7.6.5 (木) 16:08

反射のピーク時間帯



R7.6.5 (木) 16:08

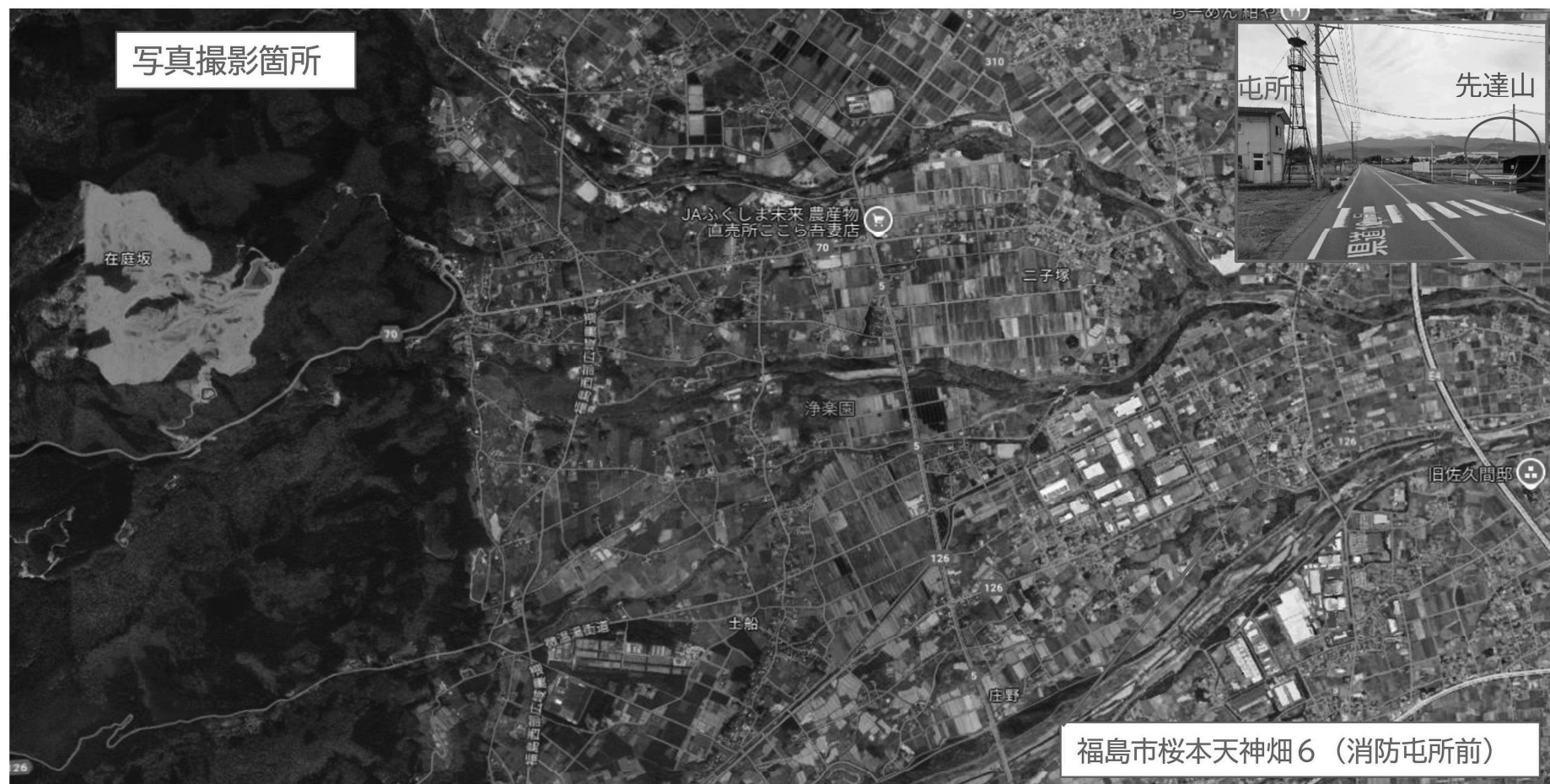


【考察1】

特定の方向において、太陽光パネルからの反射光を確認した。反射する方向は、太陽の位置との関連性があるため、時間帯のみならず時期による太陽の高さも関係すると考えられる。現地調査した日付においては15:50～16:30までの時間帯に反射光が確認され、ピークは16:00～16:20でありその間は肉眼で直視できない程の眩しさであった。

東側に傾斜している箇所に設置されていることが大きな要因と考えられる。

(資料1) 職員による現地調査の結果 (2/2)



【考察2】

今回の現地調査の結果から、反射光が届く範囲は時期と時間帯によって変化するため、年間を通して太陽の高さ及び位置による反射シュミレーションを行わなければ全貌は把握できない。また、シュミレーションに使用する太陽光パネルの角度は、実際に設置されている地盤の複雑な傾斜角を場所ごとに把握し正確に反映させる必要がある。